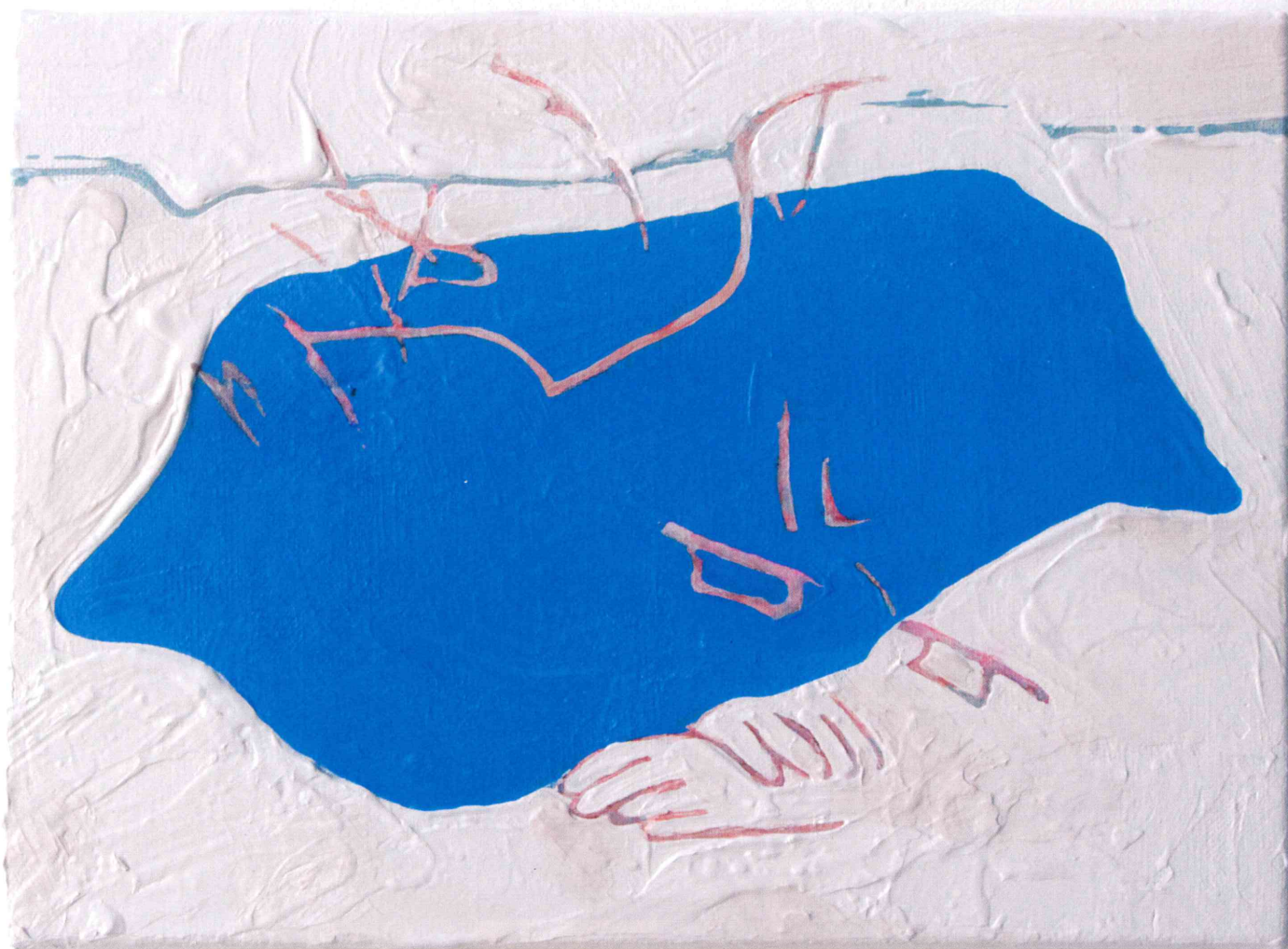




TSUNAGI  
ART MUSEUM

山下  
奏子

# 私的風景の解体：拡張



「記憶を覗き込む」、2025年、作家蔵

2025

7/26(土)

|

8/24(日)

開館時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)

料金 無料

会場 3F展示室

**U-39**  
KUMAMOTO

U-39KUMAMOTOとは熊本ゆかりの優れた若手作家(39歳以下)の創作活動を支援するため、つなぎ美術館3階展示室を作品公開の場として無償提供する取り組みです。

つなぎ美術館

〒869-5603

熊本県葦北郡津奈木町岩城494

TEL:0966-61-2222

FAX:0966-61-2223

[www.tsunagi-art.jp](http://www.tsunagi-art.jp)

# 私的風景の解体：拡張

2024年に熊本市内で個展「私的風景の解体」を開催しました。  
私たちの目に映る風景には、その土地の記憶が蓄積されています。  
そして目に映る風景とその空間は私的なものであると同時に、場所と  
事象、その場の記憶を他者と共有できる空間でもあります。「私的  
風景の解体」では、私の身近にある風景をイメージと言葉で解体し、  
私的なものに留めず公共的な繋がりを作ることの可能性を探りました。  
本展では「私的風景の解体」での取り組みを踏まえつつ、作品の  
造形や色彩など別の視点を加味しながら同テーマを展開します。

山下奏子

## 山下 奏子 YAMASHITA Kanako

1996年熊本県生まれ。

2019年沖縄県立芸術大学絵画専攻卒業。

大学卒業後、約3年間沖縄県那覇市を中心に作家活動を行い、2021年に熊本に拠点を移す。「風景」と「身体」をテーマにキャラクターを用いた作品を制作している。主な展覧会に「欠けた風景、こぼれ落ちた肉」(2020、新宿眼科画廊Eスペース、東京)「眠りにつく街の記憶」(2021、沖縄県立博物館・美術館ギャラリー2、沖縄)、「私的風景の解体」(2024、WORK STUDIO33、熊本)がある。

イベント情報

## アーティストトーク

日 時 2025/7/26(土)14:00~14:40

参加費 無 料

定 員 15名(申し込み不要、当日先着順)

会 場 つなぎ美術館3F展示室

2025

7/26(土)

8/24(日)

開館時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休 館 日 毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)

料 金 無 料

会 場 3F展示室

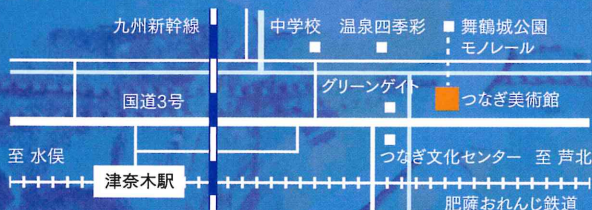
主 催 つなぎ美術館

 つなぎ美術館  
TSUNAGI ART MUSEUM

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494

TEL:0966-61-2222 FAX:0966-61-2223

www.tsunagi-art.jp



肥薩おれんじ鉄道／津奈木駅から徒歩10分

南九州西回り自動車道／津奈木I.C.から車で3分

JR九州新幹線／新水俣駅から車で10分

当館では13台駐車可能な専用駐車場をご利用いただけます。  
満車の場合は、「つなぎ文化センター」の駐車場をご利用ください。



**U-39**  
KUMAMOTO

U-39KUMAMOTOとは熊本ゆかりの優れた若手作家(39歳以下)の創作活動を支援するため、つなぎ美術館3階展示室を作品公開の場として無償提供する取り組みです。